

教科		数学		学年		第3学年	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)				単元のもよりの評価規準	
多項式	18	①単項式と多項式の乗法・除法の計算ができる。 ②式を展開することの意味を理解し、多項式どうしの積を展開できる。 ③乗法公式を見いだし、それを利用して、式を展開できる。 ④式の因数、式を因数分解することの意味を理解し、共通な因数をくり出して、式を因数分解できる。 ⑤展開や因数分解を利用して、数の計算や式の値をくふうして求めることができる。 ⑥数の性質が成り立つことを、式の計算を利用して証明したり、他者の証明を読みとったりする。	[知識・技能] ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式でわる除法の計算をすることができる。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び公式を使う簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 [思考・判断・表現] ・これまでに学んだ計算の方法と関連づけて、式の展開や因数分解の方法を考え、表現することができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係をとらえ、説明することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・文字を使った式のおよそを実感して粘り強く考え、多項式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を使った式を利用して問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				
平方根	16	①平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めたり、大小を不等号を使って表したりできる。 ②素因数分解の意味を理解し、平方根を求めるときに利用することができる。 ③根号を含む式の計算ができる。 ④身の周りにもあるものから、平方根を見いだすことができる。	[知識・技能] ・数の平方根の必要性と意味を理解している。 ・根号をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を使って表したり、処理したりすることができる。 [思考・判断・表現] ・これまでに学んだ計算の方法と関連づけて、根号をふくむ式の計算の方法を考え、表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・数の平方根のおよそを実感して粘り強く考え、数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				
2次方程式	16	①2次方程式とその解の意味を理解することができる。 ②平方根の考えを使って2次方程式を解くことができる。 ③2次方程式の解の公式を理解し、公式を使って2次方程式を解くことができる。 ④因数分解の考えを使って2次方程式を解くことができる。 ⑤2次方程式を具体的な場面で利用し、その問題を解決することができる。	[知識・技能] ・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を知り、それを使って2次方程式を解くことができる。 [思考・判断・表現] ・因数分解や平方根の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考え、表現することができる。 ・2次方程式を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・2次方程式のおよそを実感して粘り強く考え、2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、2次方程式を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				
関数 $y=ax^2$	17	①関数 $y=ax^2$ の意味を理解し、その関係を $y=ax^2$ の式に表すことができる。 ②関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴について理解する。 ③関数 $y=ax^2$ の値の変化の特徴を理解し、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。 ④身のまわりの問題を、関数 $y=ax^2$ を利用して解決することができる。	[知識・技能] ・関数 $y=ax^2$ について理解し、事象の中には関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知っている。 ・関数 $y=ax^2$ の関係を表、式、グラフなどに表すことができる。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 [思考・判断・表現] ・関数 $y=ax^2$ としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考え、表現することができる。 ・関数 $y=ax^2$ を利用して具体的な事象をとらえて考え、表現することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・関数 $y=ax^2$ のおよそを実感して粘り強く考え、関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、関数 $y=ax^2$ を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				
相似な図形	25	①図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解し、相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。 ②三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断したり、図形の性質を証明したりすることができる。 ③三角形と比の定理を理解し、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ④中点連結定理を理解し、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ⑤平行線と比の定理を理解し、それを利用して線分の長さや図形の性質を求めることができる。 ⑥相似な平面図形の相似比と面積比の関係を理解し、それを利用して図形の面積を求めることができる。 ⑦立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を理解する。 ⑧誤差や有効数字の意味を理解し、不等号や指数を使って表すことができる。	[知識・技能] ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比、体積比との関係について理解している。 ・図形の性質や相似などの関係を、記号を使って表すことができる。 ・相似などの図形の性質を使って、線分の長さや角の大きさなどを求めることができる。 [思考・判断・表現] ・三角形の相似条件などをもとにして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・相似な図形の性質のおよそを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、相似な図形の性質を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				
円	10	①円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。 ②円周角と弧の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めたり、図形の性質を考察したりすることができる。直径と円周角の定理を理解し、角の大きさを求めたり、図形の性質を考察したりすることができる。 ③円周角の定理の逆を利用して、4点が1つの円周上にあるかどうかを判断したり、図形の性質を考察したりすることができる。 ④円周角の定理を利用して、いろいろな作図の方法を考えることができる。 ⑤円周角の定理を利用して、円と交わる直線でできる図形の性質を考察することができる。	[知識・技能] ・円周角と中心角の関係などの円の性質を理解し、その性質が証明できることを知っている。 ・円の性質などを、記号を使って表すことができる。 ・円の性質を使って、角の大きさなどを求めることができる。 [思考・判断・表現] ・円周角と中心角の関係などの円の性質を見だし、論理的に確かめることができる。 ・円周角の定理などの円の性質を具体的な問題の解決に利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・円周角の定理などの円の性質のおよそを実感して粘り強く考え、円の性質を生活や学習に生かそうとしたり、円の性質を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				
三平方の定理	14	①三平方の定理とその証明を理解する。 ②三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ③三平方の定理の逆を理解し、それを利用して三角形が直角三角形であるかどうかを判断することができる。 ④三平方の定理を具体的な場面で利用し、問題を解決することができる。	[知識・技能] ・三平方の定理の意味を理解している。 ・三平方の定理が証明できることを知っている。 ・図形の性質を、記号を使って表すことができる。 ・三平方の定理を使って、線分の長さや角の大きさなどを求めることができる。 [思考・判断・表現] ・三平方の定理を見だし、論理的に確かめることができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・三平方の定理のおよそを実感して粘り強く考え、三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、三平方の定理を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。				

<p>標本調査</p>	<p>①標本調査の特徴を理解し、母集団の傾向を推定することができる。 ②身の周りの問題を、標本調査を利用して解決することができる。</p> <p>7</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を利用するなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の方法や結果を批判的に考え、表現することができる。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し、判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査のよさを実感して粘り強く考え、標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、標本調査を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。
-------------	--	---